

工 事 名 : 平成〇〇年度 市営浄化槽事業〇〇地区(その〇)浄化槽設置工事

履行場所 : 佐賀市〇〇町大字〇〇地内

施 工 計 画 書(例)

工期 自 平成26年〇〇月〇〇日
至 平成26年〇〇月〇〇日

株式会社 〇〇工務店

提出日 平成26年〇〇月〇〇日

課 長	係 長	一般監督員

現場代理人	主任技術者

目 次

1 工事概要

- 1-1 工事概要
- 1-2 工事場所案内図

2 計画工程表

3 現場組織表及び緊急時の体制

- 3-1 現場組織表
- 3-2 緊急時の対応及び体制
- 3-3 作業員名簿
- 3-4 施工体系図(下請けある場合)

4 安全管理

- 4-1 工事安全衛生方針等
- 4-2 危険予知活動・安全日報

5 主要持込機械計画

6 主要資材

7 施工方法

- 7-1 施工手順
- 7-2 施工上の注意点
- 7-3 平面図及び縦断図(排水設備計画)
- 7-4 浄化槽施工参考図(納入仕様書)

8 施工管理計画

- 8-1 浄化槽計画管理様式
- 8-2 浄化槽計画管理表
- 8-3 漏水試験記録表
- 8-4 佐賀市市営浄化槽設置工事施工チェックリスト(社内検査用)

9 その他

- 9-1 浄化槽設置届出書
- 9-2 地元への周知
- 9-3 施工打ち合わせ記録簿
- 9-4 再生資源利用促進計画書(参考)
- 9-5 退職金共済制度届出書(建退共に加入していない場合)

10 主要資材承認願(試験成績書)

- 10-1 生コンクリート
- 10-2 再生砂
- 10-3 再生 CR

1 工事概要

1-1 工事概要

工 事 名	市営浄化槽事業〇〇地区（その〇）浄化槽設置工事
申 請 者 名	浄化槽花子
工 事 場 所	佐賀市若宮三丁目6番60号
請 負 代 金	〇〇〇, 〇〇〇円
契 約 年 月 日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
工 期	自 平成〇〇年〇〇月〇〇日～至 平成〇〇年〇〇月〇〇日
発 注 者	佐賀市上下水道局 TEL0952-33-1313 担当課 下水道工務課 浄化槽係 TEL 0952-34-5047 FAX 0952-33-1505
請 負 者	株式会社 〇〇工務店 代表取締役 浄化槽次郎 TEL 0952-12-XXXX FAX 0952-12-△△△△
工 事 内 容	浄化槽設置（7人槽：1基） 別紙 数量集計表参照

種別	工種	規格・寸法	1箇所当り	単位	数量
土工	機械掘削	BH=0.28m ³	12.5 × 1 = 12.5	m ³	12
	砂埋戻	水締め	8.4 × 1 = 8.4	//	8
	残土処分	BH=0.28m ³	12.5 × 1 = 12.5	//	12
基礎工	基礎コンクリート	(t=15cm) σ cK=21N/mm ²	0.4 × 1 = 0.4	//	0.4
	コンクリート最低搬入量		0.1 × 1 = 0.1	//	0.1
	同上鉄筋	D13	0.030 × 1 = 0.030	t	0.030
	同上型枠		1.1 × 1 = 1.1	m ²	1.1
	基礎材	(t=10cm) 再生クラッシュラン	2.8 × 1 = 2.8	m ²	2.8
頂版コンクリート 打設工	頂版スラブコンクリート	σ cK=21N/mm ²	0.2 × 1 = 0.2	m ³	0.2
	コンクリート最低搬入量		0.3 × 1 = 0.3	m ³	0.3
	同上型枠		0.7 × 1 = 0.7	m ²	0.7
	同上鉄筋	D10	0.017 × 1 = 0.017	t	0.017
浄化槽据付工	浄化槽	7人槽	1 × 1 = 1	槽	1
	浄化槽据付工		1 × 1 = 1	槽	1
	基礎杭		× 1 =	本	
仮設工	アルミ矢板建込工	Ⅲ型 H=2.0m	5.30 × 1 = 5.30	m	5.3
	アルミ矢板引抜工	Ⅲ型 H=2.0m	5.30 × 1 = 5.30	//	5.3
	支保工設置	2段	5.30 × 1 = 5.30	m	5.3
	支保工撤去	2段	5.30 × 1 = 5.30	//	5.3

1-2 工事場所案内図

位 置 図

ゼンリン地図可

① 計画 ・ 実施 工程表

工事名: 市営浄化槽事業〇〇地区(その〇)浄化槽設置工事

■ : 計画

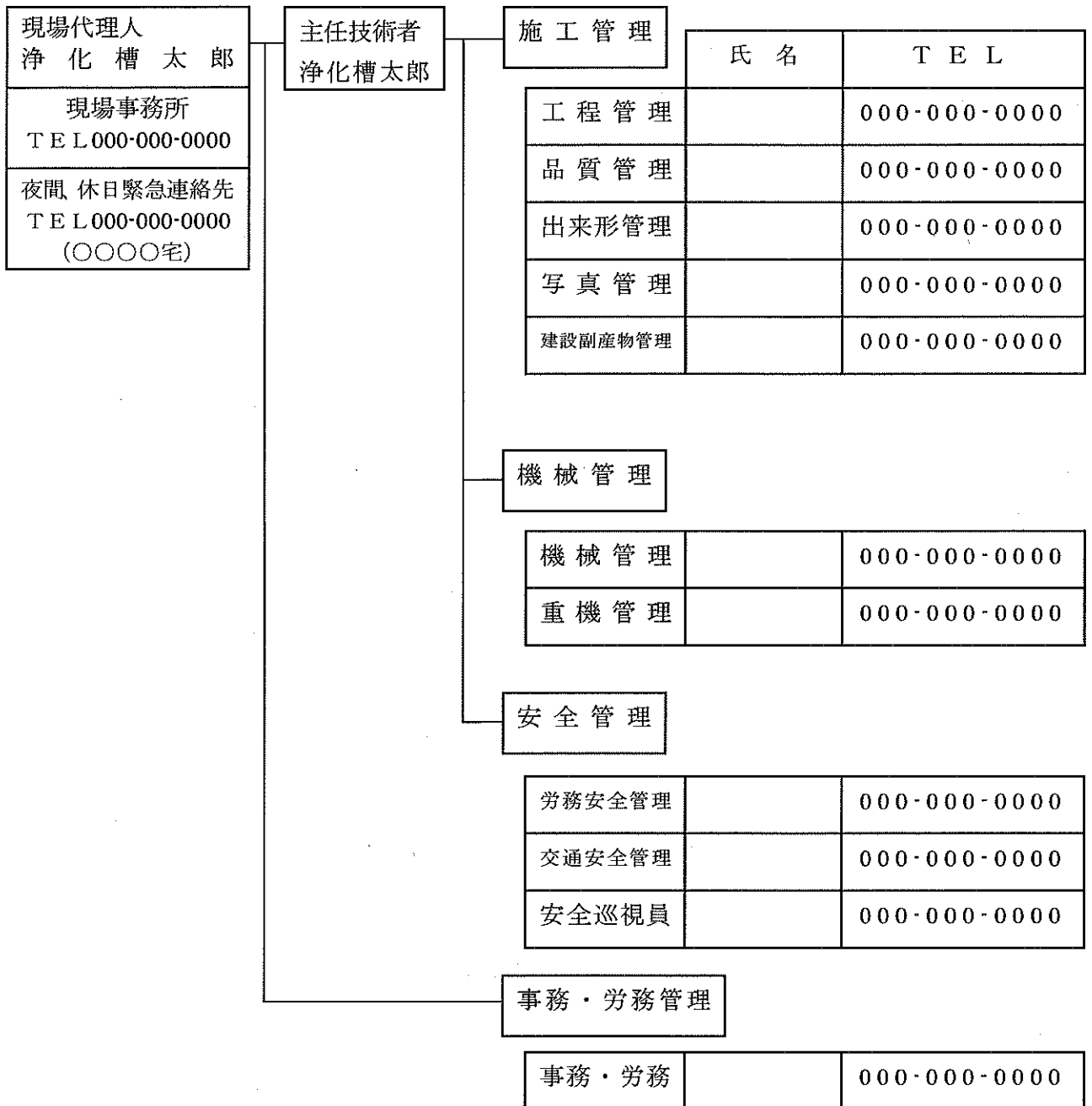
工期: 平成26年4月1日～平成26年4月30日

■ : 実施

月	4																															
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
工種																																
準備工	■																															
土工														■																		
浄化槽据付工																					■											
上部スラブ工																							■									
後片付け																									■							
書類作成																									■							
検査																																■

3 現場組織表及び緊急時の体制

3-1 現場組織表



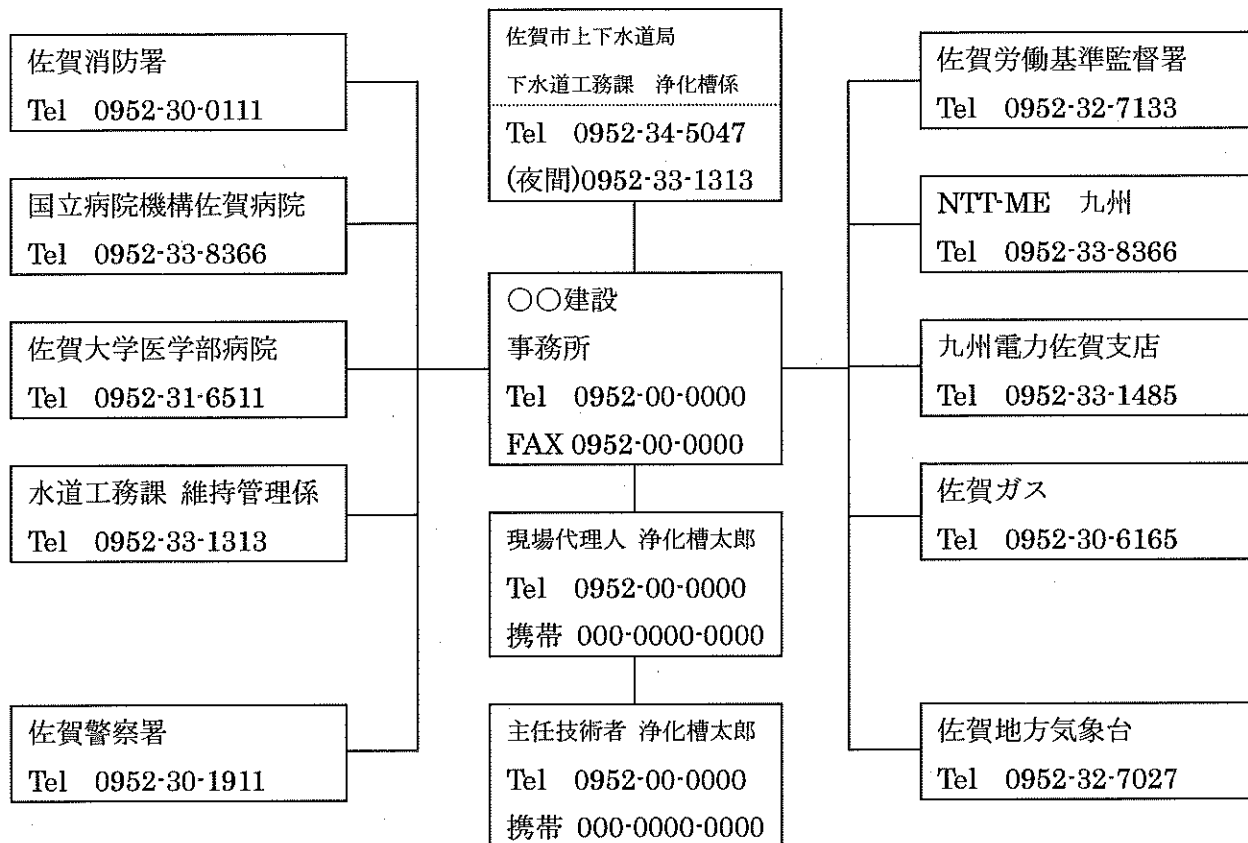
3-2 緊急時の体制及び対応

緊急事態発生時の対応

本工事で緊急事態が発生した場合には、下記の事項に基づき対応するものとする。

- (1) 事故発生と同時に、各関係機関に速やかに連絡数する。
- (2) 通報を受けた現場責任者（現場代理人、又はこれに代わる者）は、現場に急行し適切な処置をとる。

緊急時の体制連絡系統図



作業員名簿

(年 月 日 作成)

平成 年 月 日

元請
権認欄

事業所の名称 _____

所長名 _____ (次) 会社名 _____

番号	ふりがな 氏名	職種	※	雇入年月日 経験年数	生年月日 年齢	現住所 (TEL) 家族連絡先 (TEL)	最近の健康診断日		血液型	特殊健康診断日 種類	教育・資格・免許			入場年月日
							血圧	血糖			雇入・職長 特別教育	技能講習	免許	
1				年 月 日 年	年 月 日 年	家族連絡先 (TEL)	年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
2				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
3				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
4				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
5				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
6				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
7				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
8				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
9				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	
10				年 月 日 年	年 月 日 年		年 月 日 ~	年 月 日		年 月 日 年 月 日			年 月 日 年 月 日	

(注) 1. ※印欄には次の記号を入れる。
 現 … 現場代理人 主 … 作業主任者 (正副2名選任すること) 女 … 女子作業員 未 … 18歳未満の男子作業員
 技 … 主任技術者 職 … 職長 安 … 安全衛生責任者 能 … 能力向上教育 再 … 危険有害業務・再発防止教育
 2. 経験年数は現在担当している仕事の経験年数を記入する。
 3. 各社別に作成するのが原則ですが、リース機械等の運転者は一緒でもよい
 4. 資格・免許等の写しを添付すること。

施 工 体 系 図

工事名	_____		
請負代金額	_____円		
契約日	____年	____月	____日
工期	____年	____月	____日まで

請負者名	_____
請負者住所	_____
現場代理人名	_____
主任(監理)技術者名	_____

元請業者名 _____

下請け
ある場合
のみ

1次下請

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

2次下請

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

3次下請

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

業者名	_____
担当工事内容	_____
主任技術者名	_____
工期	_____
請負代金額	_____
工事	

(注) 本様式で書き切れない場合は、本様式に準じて作成すること。※ 本様式は、A3判可とする。

4-1 工事安全衛生方針

工事安全衛生方針

会 社 災害要因の事前排除により二大災害（墜落災害、機械災害）の防止を図る

- 本工事
- ・朝礼時のKY活動、工事打ち合わせの充実により、全作業員の安全意識の向上を図る。
 - ・見張りの強化（具体的な指導等）や指さし確認により、事故を未然に防ぐ。
 - ・有資格者配置の徹底を図る。

立地・環境条件

本工事現場は、既存住宅と市道に挟まれた狭小地での施工となるため、通行人の安全に対しても十分に配慮して工事を行う。

新規入場者教育

本工事实施に当たり、着工前には作業員全員に対し新規入場者教育を行う。

危険予知活動・安全日報

工事名 | 市営浄化槽事業〇〇地区(その〇)浄化槽設置工事

月 日 時 分 実施

☆本日の作業内容

☆危険のポイント(どんな危険があるか)

☆本日の行動目標(だから私達はこうします)

リーダー氏名		作業員数	名
参加者サイン	本日の体調(良好...◎、普通...○、不調...×)		
〇〇××	◎	備考欄	

5 主要持込機械計画

当工事における主要持込機械計画を以下に示す。

バックホウについては、「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する予定です。

品 名	規 格	数 量	用 途	備 考
バ ッ ク ホ ウ	0.28 m ³	1 台	掘削積込・埋戻し	
ダンプトラック	2 t	1 台	運搬	
ダンプトラック	4 t	2 台	運搬	
振動コンパクト	ランマー 50~60kg	1 台	転圧	
水 中 ポ ン プ	50mm×10m	1 台	水替え	
発 動 発 電 機	1.5kw	1 台	電動工具用電源	

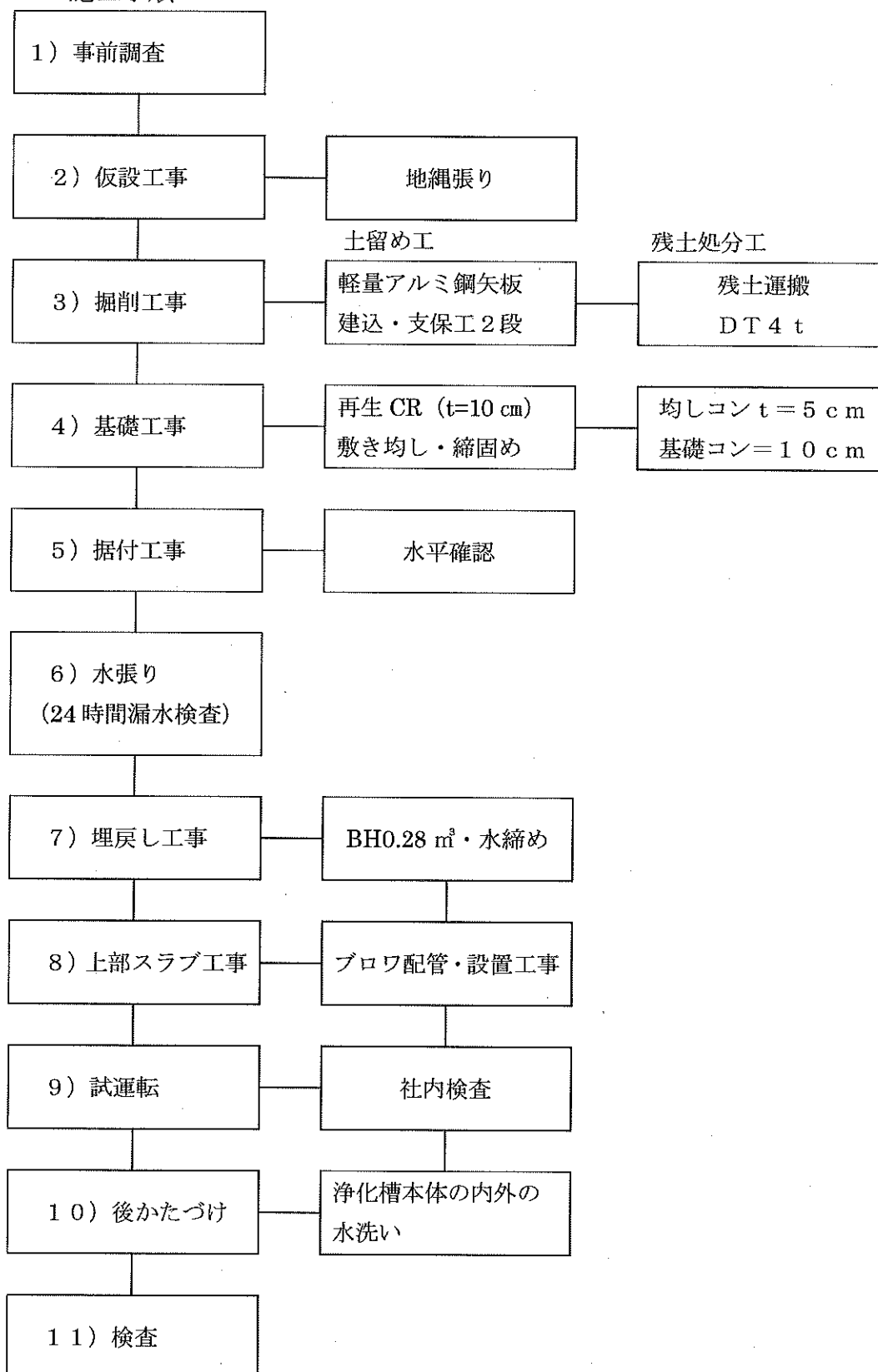
6 主要資材

本工事における主要資材の使用数量を以下に示す。

品名	規格	予定数量	製造業者 (メーカー)	納入業者	品質証明	摘要
再生CR	RC-40	m ³			試験成績表	
鉄筋	D10	t			試験成績表	
鉄筋	D13	t			試験成績表	
生コンクリート	24N/m ²	m ³			試験成績表	
浄化槽本体	7人槽	1基			承認願	
再生砂	再C-10	m ³			試験成績表	
アルミ矢板	L=2.5m	32枚				
土留め支保工	水圧式	2段				

7 施工方法

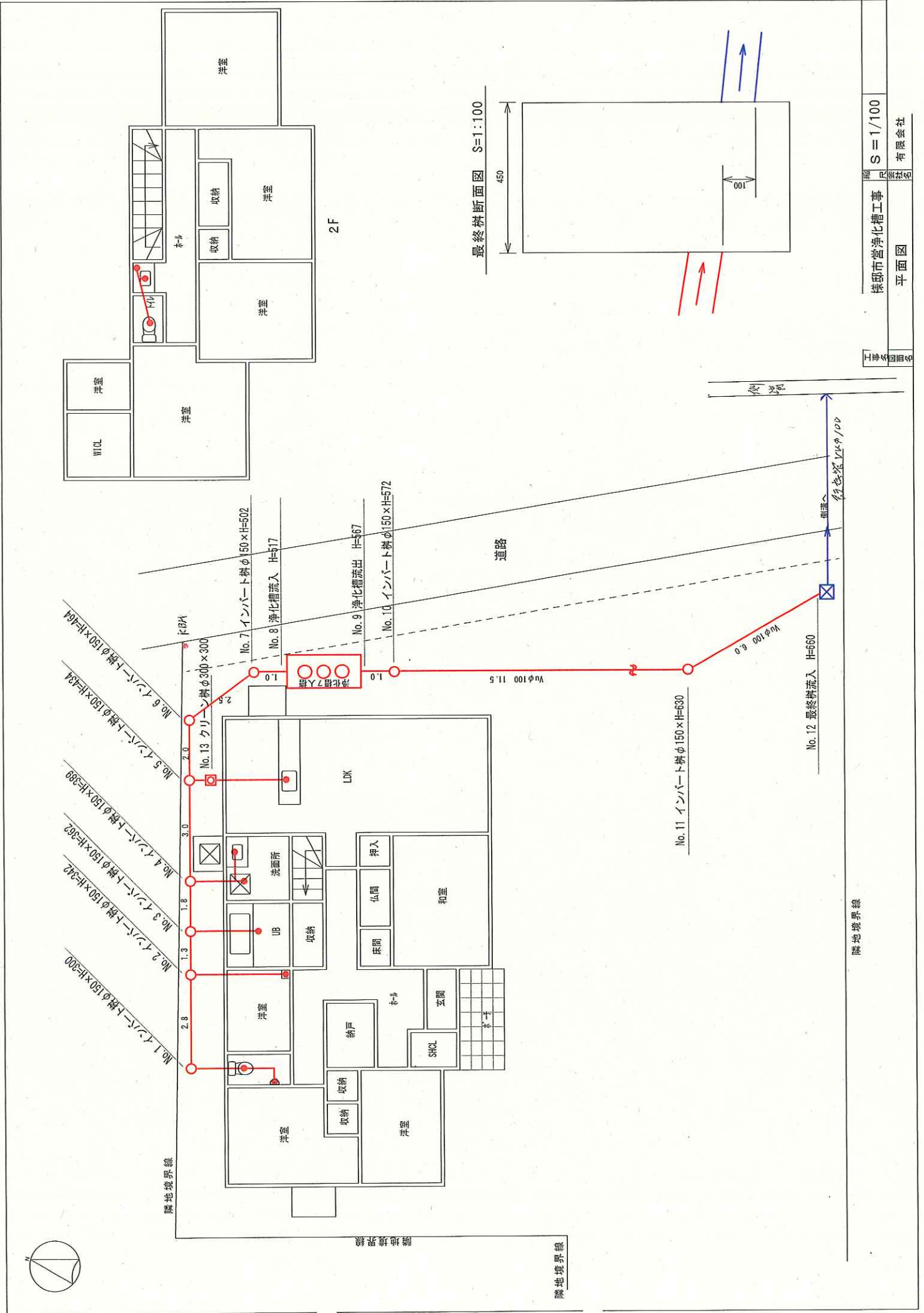
7-1 施工手順



7-2 施工上の注意点

各工種別、手順、内容およびそれに対する問題点と工法、機種選定の要素を記す。

種 別	内容及び選定要素、問題点など	施工法・機種など
1) 事前調査 2) 仮設工事	着工前測量を行い、浄化槽の設置位置を縄張りし、関係者と立会し確認する。	浄化槽計画管理様式（上下水道局提出用）を作成する。
3) 掘削工事	地下水の状況によっては、水替え工事の適切な処理をすること。 地山掘削の作業主任者を選任し、オペレーターに直接指揮をとること。	BH0.28 m ³ 水中ポンプ
土留工	アルミ矢板を設置後、ただちに土留め支保工を設置する。地山が緩んでいないか常に監視する。 土留め作業を行うときは、作業主任者を選任し直接指揮をとること。	
4) 基礎工事	掘削が過掘となっている場合、基礎碎石で充填すること。 鉄筋のかぶりはとれているか確認すること。 基礎コンクリートは、水平に打設しているか9点で管理すること。	
5) 据付工事	浄化槽本体の据え付け前に本体の検査を行うこと（外観異常など） 水平に据え付けを行うこと。	
7) 埋戻し工	巻出し厚30cmでバイブレータを使用し、しっかりと締まるように水締めを行うこと。水を入れ過ぎた場合は、水中ポンプで釜場排水をしながら水締めをすること。	
8) 上部スラブ工	十分な養生を行うこと。 嵩上げ部のコーキングをしっかりと行うこと。	
9) 試運転	ブロワを稼働させて状況を確認する。	



工事内容

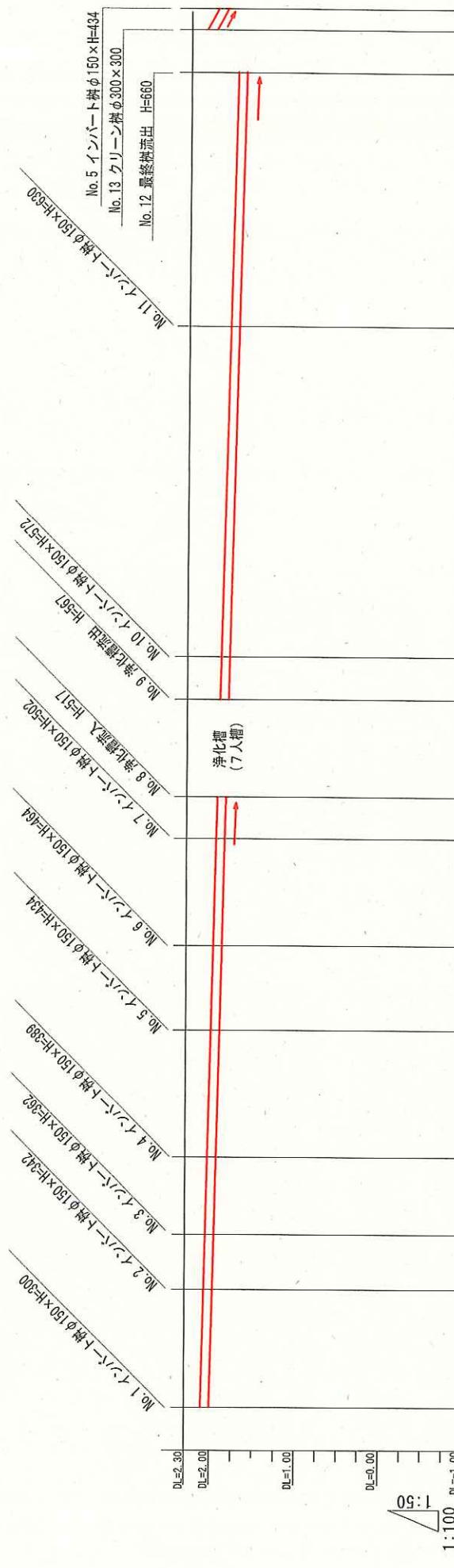
隣地境界線

隣地境界線

隣地境界線

縦断面図

V=1:50
H=1:100

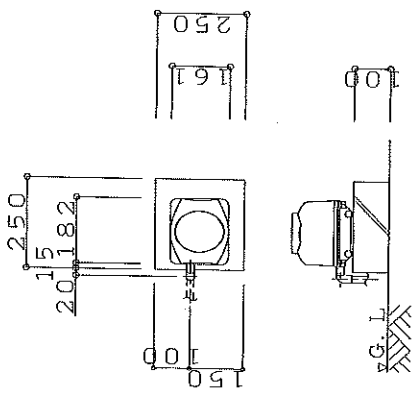


測点	追加距離	単距離	管底高	掘削深	土盛り	地盤高	管径	管勾配
No. 1	0.00	2.80	1.958	0.342	0.242	2.30	2.30	0.200
No. 2	2.80	2.80	1.938	0.362	0.262	2.30	2.30	0.300
No. 3	4.10	1.30	1.911	0.389	0.289	2.30	2.30	0.289
No. 4	5.90	1.80	1.866	0.434	0.334	2.30	2.30	0.334
No. 5	8.90	3.00	1.866	0.434	0.334	2.30	2.30	0.334
No. 6	10.90	2.00	1.836	0.464	0.364	2.30	2.30	0.364
No. 7	13.40	2.50	1.798	0.502	0.402	2.30	2.30	0.402
No. 8	14.40	1.00	1.783	0.517	0.417	2.30	2.30	0.417
No. 9	16.70	2.30	1.733	0.567	0.467	2.30	2.30	0.467
No. 10	17.70	1.00	1.728	0.572	0.472	2.30	2.30	0.472
No. 11	29.20	11.50	1.670	0.630	0.530	2.30	2.30	0.530
No. 12	35.20	6.00	1.640	0.660	0.560	2.30	2.30	0.560
No. 13	0.00	0.00	2.000	0.300	0.200	2.30	2.30	0.200
No. 5	0.50	0.50	1.866	0.434	0.334	2.30	2.30	0.334

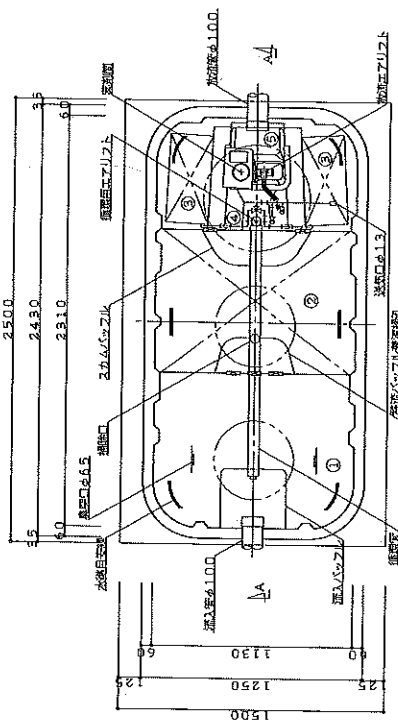
責任技 印

図面番号 京市営浄化槽工事

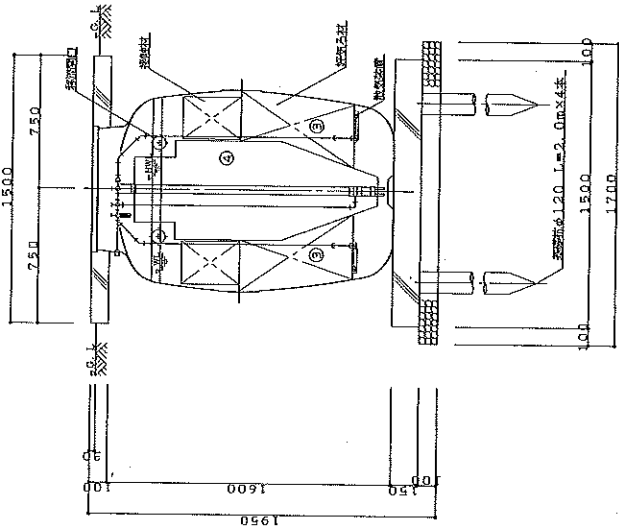
図面名称 縦断面図 縮尺 V=1/50, H=1/100



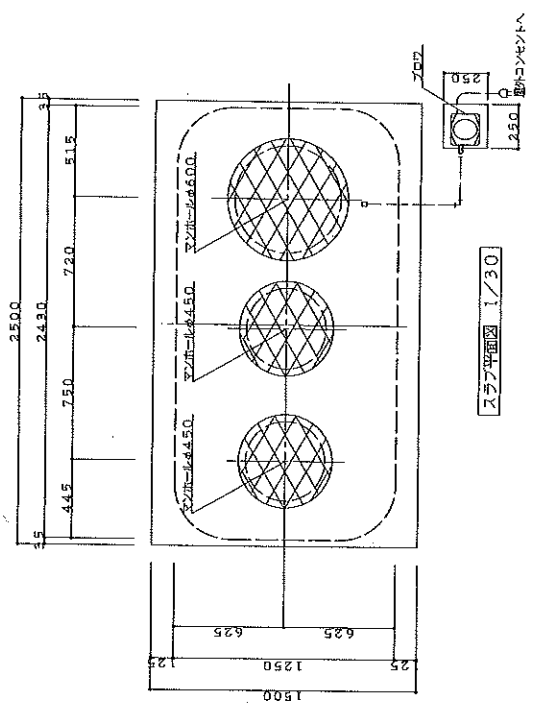
浮球の浮力は参考値とする
フロア平・断面図 1/15



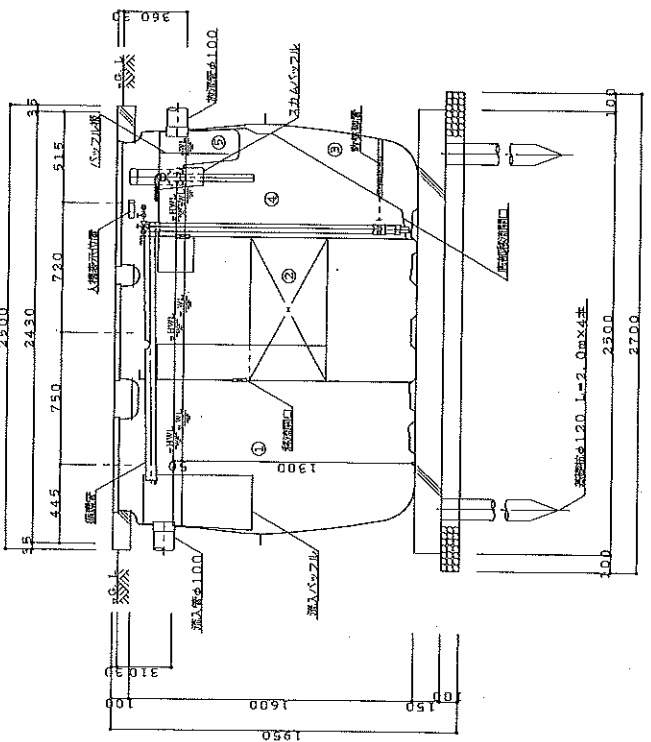
内部平面図 1/30



B-B断面図 1/30



トップ平面図 1/30



A-A断面図 1/30

仕様表	
設計番号	FKS3181A-03
型式名称	CE-7型
製造内装人員	7人
汚水量	1.40m ³ /d
流入水質	BOD200mg/L T-N 50mg/L SS 160mg/L
流出水質	BOD 20mg/L T-N 20mg/L S S 20mg/L
型式認定番号	5-13K-H-007-1
型式適合認定番号	型01Cad0a0073623
① 汚濁除去率	有効容量 1.048 m ³
② 濾材の容積	有効容量 1.052 m ³
③ 濾材の容積	有効容量 0.482 m ³
④ 処理水量	有効容量 0.237 m ³
⑤ 処理時間	有効容量 0.015 m ³
⑥ 総容量	有効容量 2.834 m ³
機器装置仕様	
濾材の材質	PPまたはPE
接続材	PVC、PPまたはPE
浮球の材質	PPまたはPE
フロア	80L/min以上 海綿製
浮球の材質	FRP
パイプ類	PVC、PPまたはPE
マンホール	PP(500K)
消音剤	固形繊維類
配管仕様	
配出配管(フロア側)	VP
土留配管	φ40以下-VP・φ50以上-VU
箱内配管	メーカ仕様

仕様表	
設計番号	FKS3181A-03
型式名称	CE-7型
製造内装人員	7人
汚水量	1.40m ³ /d
流入水質	BOD200mg/L T-N 50mg/L SS 160mg/L
流出水質	BOD 20mg/L T-N 20mg/L S S 20mg/L
型式認定番号	5-13K-H-007-1
型式適合認定番号	型01Cad0a0073623
① 汚濁除去率	有効容量 1.048 m ³
② 濾材の容積	有効容量 1.052 m ³
③ 濾材の容積	有効容量 0.482 m ³
④ 処理水量	有効容量 0.237 m ³
⑤ 処理時間	有効容量 0.015 m ³
⑥ 総容量	有効容量 2.834 m ³
機器装置仕様	
濾材の材質	PPまたはPE
接続材	PVC、PPまたはPE
浮球の材質	PPまたはPE
フロア	80L/min以上 海綿製
浮球の材質	FRP
パイプ類	PVC、PPまたはPE
マンホール	PP(500K)
消音剤	固形繊維類
配管仕様	
配出配管(フロア側)	VP
土留配管	φ40以下-VP・φ50以上-VU
箱内配管	メーカ仕様

注1) 上部は歩行者荷重とする。
 注2) 機器重量は総重100Vとする。
 注3) 図中の"G、L"は浄化槽位置での仕上レベルを示す。
 注4) 浄化槽からフロアまでの距離は5m以内とする。
 注5) 流入管・放流管は別図とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
 注6) 臭気工事は別図とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
 注7) フロア付近にアース付コンセント×1を設けること。配管は浄化槽工事範囲外とする。
 注8) 接続工事は、配管工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別図とする。

名	株式会社 佐賀市市庁整備事業
名	合併浄化槽 7人用 構造図
図	図
日	25・10・21
頁	1/30

1. 基本情報

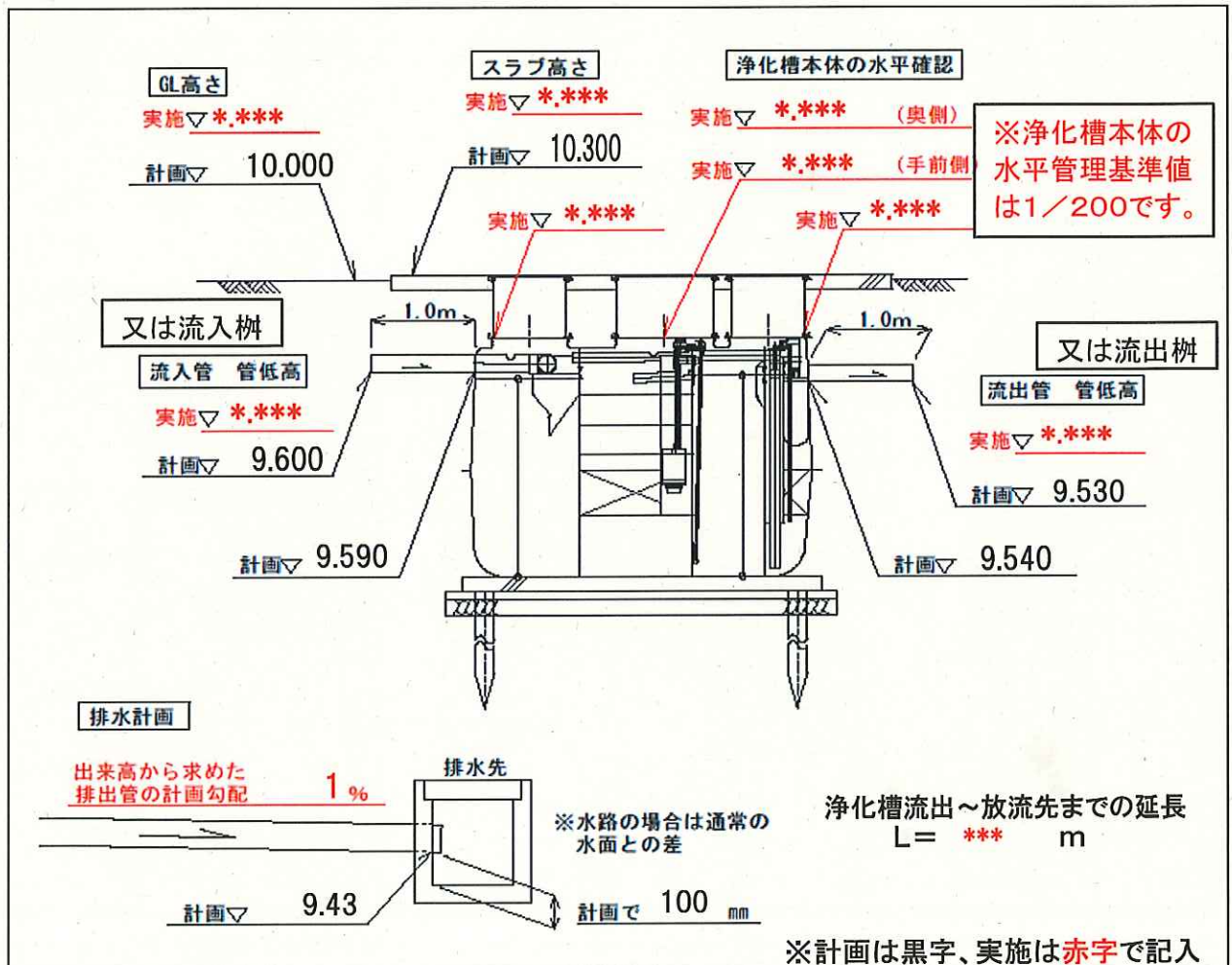
申請者氏名	浄化槽 花子	設置場所	佐賀市若宮三丁目6番60号
人槽	7	基礎杭 有り(め)	12 mm・ 2 m× 4 本)・ 無し
		未完成箇所	

2. 確認事項

- ① 基準点について : 場所[放流先側溝天端] を基準点とし、標高を[9.730]とする。
- ② GLについて : 基準点から[270]mm 下り・上りをGLとする。標高[10.000]
- ③ スラブ高について : GLから[30]mm 下り・上りをスラブ高とする。標高[10.030]
- ④ 流入管について : [GL]から[400]mm 下り・上りを流入管管底高とする。
- ⑤ 駐車場仕様について : 駐車場仕様と[する ・ しない]

	会社名	担当者	連絡先	確認日
①の確認先	△△ホーム	□□ ××	090-1234-××××	H 26 年 4 月 1 日
②の確認先	"	"	"	H 26 年 4 月 1 日
③の確認先	"	"	"	H 26 年 4 月 1 日
④の確認先	〇〇工務店(自社)	☆☆(排水設備担当)	090-1234-××××	H 26 年 4 月 1 日
⑤の確認先	申請者	浄化槽 花子	090-1234-××××	H 26 年 4 月 1 日

3. 出来形管理図



4. 備考 (部分使用検査時に必要なもの)

- ①本票 ②工事写真 ③レベル・スタッフ ④水張り試験結果

市営浄化槽 出来形(計画) 管理表

申請者氏名
設置場所

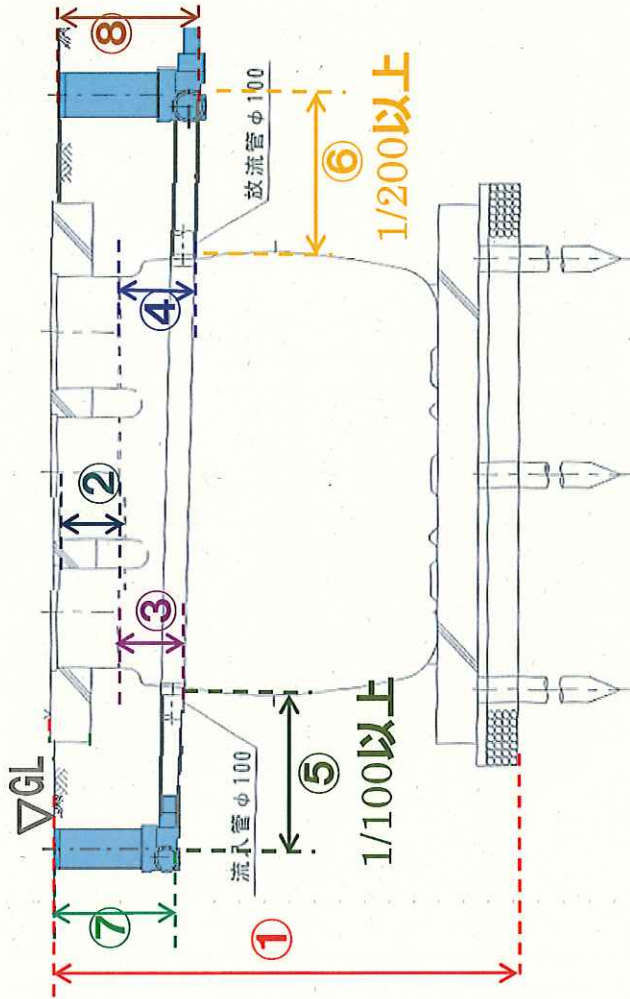
〇〇〇〇様
佐賀市〇〇地内

人槽

7

※黄色に着色した箇所を記入すること

設置機種種別 **マジクリンCE-7** 駐車場仕様 **無** ポンプ仕様 **無**



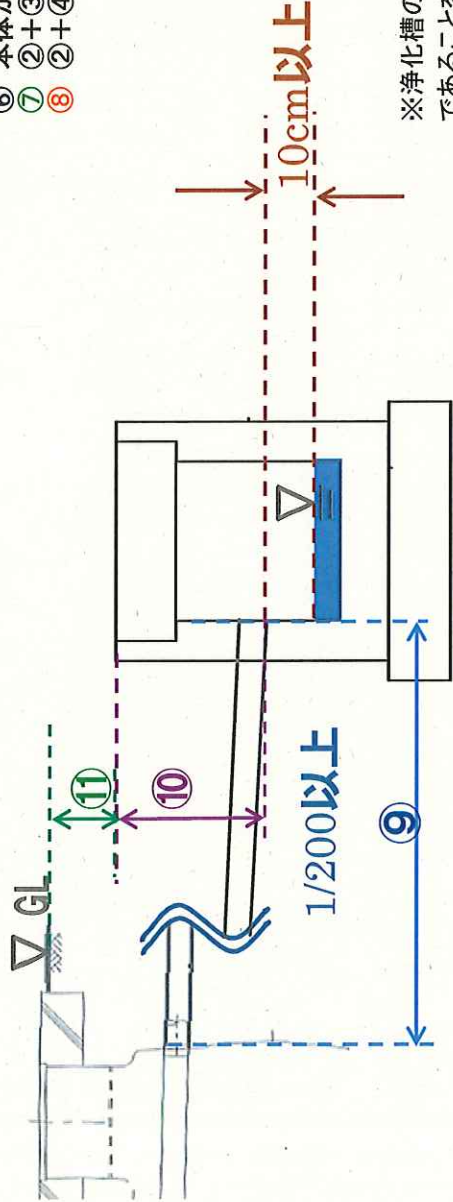
①	②	③	④
実施値			
計画値	1950	100	310
差			
管理基準値	±30mm	±300mmまで	

- ① 掘削深(製品高+②高上げ高+⑤+⑥+⑦)
- ② 高上げ高
- ③ 製品固有の流入高(固定)
- ④ 製品固有の流出高(固定)

※頂版コンクリートは、GLより3cm程度高く仕上げる

⑤	⑥	⑦	⑧
実施値			
計画値	1000	1000	400
差			
管理基準値		±30mm	±30mm

- ⑤ 本体から流入桝までの距離
- ⑥ 本体から流出桝(側溝)までの距離
- ⑦ ②+③-⑤/100 ≤ ⑦
- ⑧ ②+④+⑥/200 ≥ ⑧



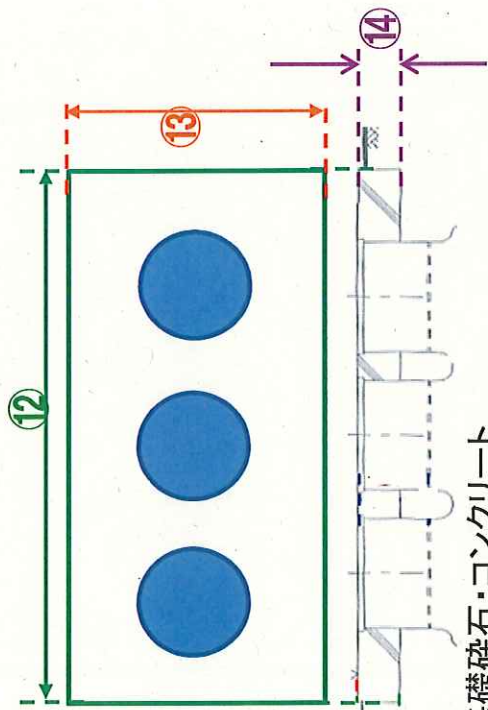
⑨	⑩	⑪
実施値		
計画値	10000	300
差		
管理基準値	±30mm	

⑩ ②+④+⑨/200+100 ≤ ⑩+⑪

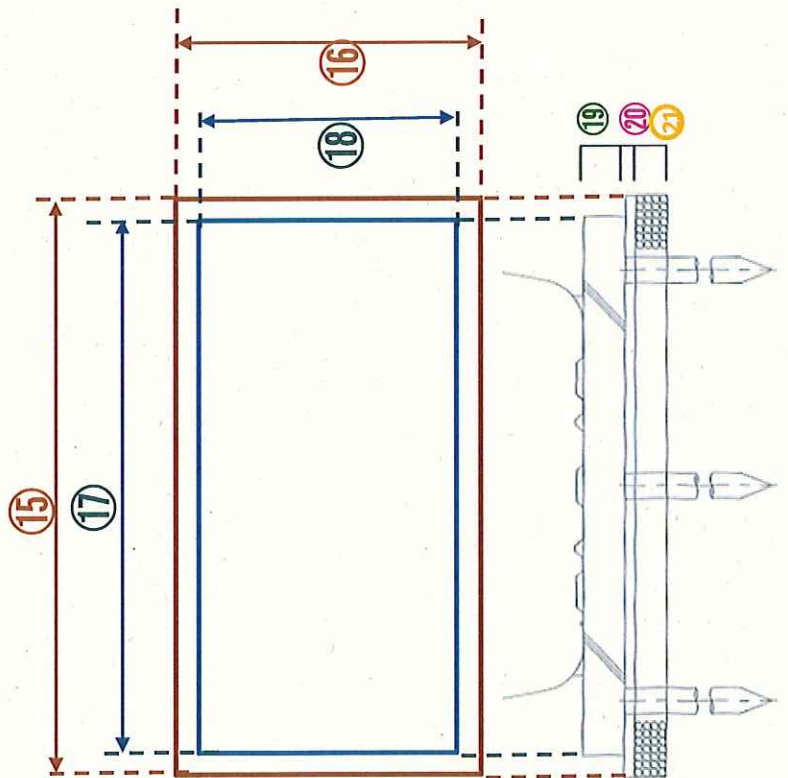
※浄化槽の放流管底は、水面+10cm以上かつ勾配が1/200以上であることを確認すること

※水面+10cmが確保できない場合は、逆流の恐れがないことを確認または、浄化槽係に事前相談を。

頂板コンクリート



基礎碎石・コンクリート



	⑫	⑬	⑭
実施値			
計画値	2500	1500	100
差			
管理基準値	計画値以上	計画値以上	計画値以上

- ⑪ 頂板コンクリート長さ
- ⑫ 頂板コンクリート幅
- ⑬ 頂板コンクリート厚

	基礎碎石	基礎コンクリート
実施値		
計画値	2700	1700
差		
管理基準値	計画値以上	計画値以上

	⑰	⑱	⑲
実施値			
計画値	100	50	100
差			
管理基準値	計画値以上	計画値以上	計画値以上

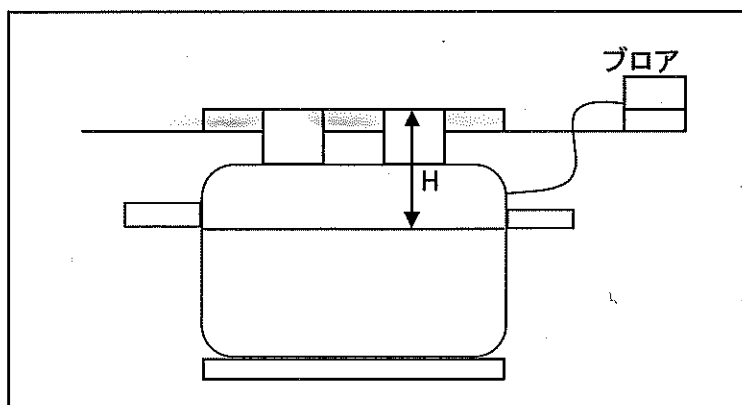
- ⑱ 底盤コンクリート厚
- ⑲ 均しコン厚
- ⑳ 碎石厚

漏水試験記録表

◎測定日： 月 日 ~ 月 日 測定箇所： 〇〇 宅 地先

	測定時刻	経過時間	水位高さ (H)	摘要
給水完了	日 時 分	0時間	(mm)	
測定 第1回測定	日 時 分	時間 分	(mm)	
第 回測定				
第 回測定				
(最終測定) 第 回測定	日 時 分	24時間	(mm)	

※ 測定回数は、現場状況に応じることとします。



※自社で検査項目の加筆、修正をしていただ
いて構いません。
※部分使用検査を受ける前に、社内検査を行
い、提出すること。

佐賀市市営浄化槽設置工事施工チェックリスト

検 査 項 目	チェックポイント	確認
1 高さ上げの状況	バルブの操作などの維持管理を容易に行うことができるか。(30cm以内か)	
2 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検及び清掃を行いにくい場所に設置されていないか。	
	保守点検及び清掃の支障となるものが設置されていないか。	
	コンクリートスラブが打たれているか。	
3 漏水の有無	漏水が生じていないか。	
4 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか。	
5 接触材等の変形、破損及び固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損がないか。	
	しっかり固定されているか。	
6 ばっ気装置、逆洗装置破損、汚泥移送装置の変形、固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損がないか。	
	しっかり固定されているか。	
	空気の出方や水流に片寄りはないか。	
7 消毒設備の変形破損及び固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
8 ポンプ設備（流入ポンプ及び放流ポンプ）の設置及び稼働の状況	ポンプますに変形や破損はないか。	
	ポンプますに漏水のおそれはないか。	
	ポンプが2台以上設置されているか。	
	設計どおりの能力のポンプが設置されているか。	
	ポンプの固定が十分行われているか。	
	ポンプの取りはずしが可能か。	
9 ブロワの設置及び稼働の状況	防振対策がなされているか。	
	固定が十分行われているか。	
	アースはなされているか。	
	漏電のおそれはないか。	
10 写真管理 【浄化槽設置】	着工前に合併処理浄化槽設置場所で浄化槽設備士が標識を掲げている写真	
	碎石の転圧終了後	
	基礎配筋（被り・ラップ長）	
	擁壁の配筋（被り・ラップ長）	

	支柱等補強配筋（定着長）	
	コンクリート打設置後（出来形）	
	設置前の浄化槽本体（全景・品番）	
	据付及び水平	
	水張り	
	埋め戻し水締め	
	上部スラブ配筋（被り・ラップ長）	
	かさ上げ	
	ピット構造	
	ブロワ設置状況（アースの確認）	
	ポンプ設備の写真	
	合併処理浄化槽完了後	
10 写真管理 【単独浄化槽撤去】	既存単独浄化槽又はくみ取り便槽の全景	
	し尿・汚泥くみ取り	
	消毒	
	残置する部分	
	掘り上げた本体	
	掘り上げ状況	
	既存し尿施設の埋め戻し水締め	
	既存し尿施設の撤去完了後	
10 写真管理	管理者が必要と認めたものの写真	

社内検査員

氏 名

印

浄化槽設置届出書

佐賀市上下水道事業管理者 金丸 正之 殿

設置者住所 佐賀市若宮三丁目6番60号

氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名) (ふりがな) ひでしま としゆき
 佐賀市長 秀島 敏行 印

平成26年 4月 1日
 電 34-5047

浄化槽を設置したいので、浄化槽法第5条第1項の規定により次のとおり届け出ます。

1. 設置場所の地名地番	佐賀市若宮三丁目6-60 (山田 太郎宅)		11. 付近見取図	*両面印刷でお願いいたします
2. 種類	①浄化槽法に基づく型式認定浄化槽 名称 ダイエー浄化槽 FCS5型 認定番号5-06-H-001 (06)-3		別紙のとおり 申請者氏名も必ず 記入してください。	
3. 処理の対象	②その他 ①し尿のみ ②し尿及び雑排水			
4. 建築物の用途及び延べ面積	200㎡			
5. 処理対象人員 (設置人槽)	5人 (5人槽)			
6. 処理能力	設置する浄化槽の 処理対象人数 5人槽の時は5人	1.0㎡/日		
	日平均汚水量	90%		
7. 放流先又は放流方法	ハ. 放流水中のBOD	20mg/l		
	①側溝 ②河川 ③湖沼 ④海域 ⑤地下浸透			
8. 浄化槽工事業者	⑥その他 (水路)			
	氏名又は名称	株式会社〇〇工務店		
9. 着工予定	知事登録・届出番号	佐賀県知事 (届21) 第829号		
	平成26年4月12日	10. 使用開始予定 平成26年4月30日		
12. その他特記すべき事項	佐賀市市営浄化槽事業 (設置申請者名: 山田太郎) により設置予定		使用予定人数 4人	

着工日は申請日より11日以降にしてください

(注意) 1. 2欄、3欄、7欄は、該当する事項を○で囲むこと。
 2. 11欄は、設置位置、放流経路 (朱書)、放流先、方位、道路及び目標となる地物を明示すること。
 3. 12欄は、処理対象人員と使用予定人員が当異なる場合にその予定人員を記入すること。
 (備考) 1. 記名押印に代えて、署名することができ。 2. 用紙の大きさは日本工業規格A列4番とする。
 BOD: 生物化学的酸素要求量

処理方法	固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式		浄化槽保守 点検委託業 者(予定)	住所 佐賀市川副町小々森954 氏名又は名称 (株)南部環境衛生センター 登録番号 佐保福第36号	TEL 45-0536			
設置区域の種別	支障ある区域 その他の区域		技術管理者	住所 氏名				
建築用途別処理対象人員算定表 (建築面積 m ²)			汚水量算定等	認定番号	資格取得年月日			
用途	種別	1 階	2 階	階	階	用途別計	単位算定 人員	算定人員
住宅		68.3	54.38			122.68	130m ² >A=5	5
	計	68.3	54.38			122.68		5

参考データシートより
コピーしてください。

記入方法がわからない
場合は空欄で提出くだ

この届出書(添付資料含む)に記載された個人情報、公共水域等の水質の保全等の観点から浄化槽によるし尿及び
雑排水の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、浄化槽法等の規定に基づき佐賀
県(下水道課、建築住宅課、各保健福祉事務所及び各土木事務所)、県内市町及び指定検査機関(財団法人佐賀県環境科
学検査協会)において利用させていただきます。これ以外の目的については、本人の了解なしに個人情報等を第三者に提供
することはありません。

佐賀市の個人情報保護方針については、ホームページの佐賀市の情報公開、個人情報保護制度
(<http://www.city.saga.lg.jp/contents.jsp?id=272>)をらんください。

平成 26 年 4 月 1 日

近隣各位

株式会社 ○○ 工務店
代表取締役 浄化槽次郎

市営浄化槽事業○○地区（その○）浄化槽設置工事について（お知らせ）

陽春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今回佐賀市上下水道局が発注します○○△△様宅の浄化槽設置工事を請け負うこととなりましたのでこの工事に関する概要について、事前にお知らせいたします。

弊社としましては、近隣の皆様方と良好な関係が築けるように、万全を期し工事を進めたいと存じますので、何とぞご理解のほどをよろしくお願ひします。

なお、ご不明な点がありましたら、担当者にご連絡くださいますようよろしくお願ひします。

- 1 工事名 市営浄化槽事業○○地区（その○）浄化槽設置工事
- 2 工期 平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 4 月 28 日（予定）
重機を動かす期間は約 1 週間ほどです。
- 3 工事時間 午前 9 時～午後 5 時
- 4 発注元：佐賀市上下水道局 下水道工務課 浄化槽係
Tel 0952-34-5047（直通）
- 5 連絡先（請負業者）

株式会社○○工務店 工事課 担当 浄化槽太郎
Tel 090-1234-XXXX

工 事 打 合 簿

発議者	<input type="checkbox"/> 発注者 <input type="checkbox"/> 請負者	発議年月日	平成 年 月 日
発議事項	<input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他()		
件名	市営浄化槽事業〇〇地区(その〇)浄化槽設置工事		
(内容)			
処 理 者	発 注 者	上記について <input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 受理 します。 <input type="checkbox"/> その他()	
		平成 年 月 日	
回 答 者	請 負 者	上記について <input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 受理 します。 <input type="checkbox"/> その他()	
		平成 年 月 日	

課長	係長	一般 監督員	主任 技術者	現場 代理人

平成 年 月 日

佐賀市上下水道局長 様

請負者 住所

氏名

印

退職金制度届出書

平成 年 月 日付けで契約を締結した
(工事番号)

工事を
施工するに当たり雇用する労働者（下請業者が雇用する労働者を含む。）全員の退職金につ
いては、下記のとおり措置されていますので届け出ます。

なお、工事途中に下記のいずれにも該当しない労働者（下請業者が雇用する労働者を含
む。）を雇用することとなった場合には、建設業退職金共済制度に加入することを約します。

記

- 1 請負者が雇用する労働者について（該当項目の□をチェックする。）
 - 労働協約又は就業規則に退職手当の定めがある。
 - 特定退職金共済制度（※1）に加入している。
 - 中小企業退職金共済制度（※2）に加入している。

- 2 下請業者が雇用する労働者について（該当項目の□をチェックし、下請業者名を記入する。）
 - 労働協約又は就業規則に退職手当の定めがある。
下請業者名：
 - 特定退職金共済制度に加入している。
下請業者名：
 - 中小企業退職金共済制度に加入している。
下請業者名：

※1 商工会議所又は商工会等の実施する退職金共済制度で、所得税法施行令第73条に規
定するものをいう。

※2 中小企業退職金共済法に基づき設けられた制度で、勤労者退職金共済機構の中小企業
退職金共済事業本部が運営しているものをいう。